

令和6年度 常陸太田市「地域おこし協力隊」を募集します！

あなたの力が地域を動かす糧になる。
ひたちおおたで新しいこと始めませんか。

募集要項

【ナチュラルチーズ職人 枠】1名

常陸太田市では平成29年度より「常陸太田チーズ製造・商品化プロジェクト協議会」を立ち上げ、市畜産業における6次産業化の推進と地域ブランドの創出による地域産業の活性化を目指して取り組んでいます（チーズプロジェクト事業）。

その事業の一環として、旧学校給食センターの施設を活用し「ひたちおおたチーズ工房」を立ち上げ、常陸太田産の生乳を使用したナチュラルチーズによる新たな認証特産品の開発・製造・商品化に取り組んできました。

しかし、本プロジェクトを推進していく中で、市内ナチュラルチーズ製品の製造量の拡大や安定した生産体制の確立等、課題も多い状況です。

そこで、チーズ製造に関する製造技術を学びながら、チーズに関する各種研修等とおして見識を広めてもらい、私たちと一緒に地域産業の活性化を目指してくれるナチュラルチーズ職人を募集します。

（研修先：（一財）里美ふるさと振興公社）

○求める人材像

本気でチーズ製造に関する製造技術を学び、地域のために熱意をもって活動ができる方を募集します。

- ・チーズが好き、チーズ製造に興味がある方
- ・酪農や畜産業の業務経験や、学んだスキルを活かして地方で活躍したい方
- ・長時間集中して作業に取り組める体力がある方
（チーズ製造は立ち仕事が多く、体力が必要です）

○活動例

- ・研修先における製造～管理～販売の実務研修をおして、ナチュラルチーズ製造に関する技術・資格の習得を目指す。
- ・市、協議会等が実施・参加する各種イベントにてPR活動を行い、販路拡大に取り組む。

○上記の主な活動のほか、次のような地域協力活動にも取り組みます。

- ・地域おこしの提案と実践
- ・協力隊員同士の連携・協働活動
- ・地域活動への参加及び参画（自治会活動、イベント、祭りなどの伝統芸能等継承活動）
- ・活動および任期後の定住に必要と思われる研修会、連絡会議、地域の集会等への参加

募集人数

1名

活動場所

主に里美地区

活動時間

月160時間程度（1日当たり8時間、週40時間の活動を原則とします）

<p>任用形態 ・ 期間</p>	<p>○隊員として常陸太田市長が委嘱します。 ・市との雇用関係はありません</p> <p>○委嘱期間は委嘱日から1年間となります。 ・活動実績等を踏まえて1年ごとに更新します（最長3年）。</p>
<p>募集対象</p>	<p>【下記すべてを満たす方】</p> <p>①都市地域等（条件不利地域以外）に在住し、委嘱後常陸太田市（指定する地域）に生活の拠点を移し、住所を定めることのできる方</p> <p>②地域になじみ、住民とともに汗を流しながら地域活性化に取り組み、事業終了後においても本市に定住する意欲のある方</p> <p>③普通自動車運転免許を取得しており、委嘱までに自家用車を準備できる方</p> <p>④PC等の情報機器を所有し、パソコンの操作（word・Excel・PowerPoint等）が可能で、活動記録やSNS記事などの各種書類作成や活動の情報発信ができる方</p> <p>⑤心身ともに健康で、誠実に職務ができる方</p>
<p>報償費</p>	<p>1年目：月額180,000円 2年目：月額200,000円 3年目：月額220,000円 ※別途、所得税の源泉徴収あり</p>
<p>待遇・ 福利厚生</p>	<p>○市で住居を用意します（住居賃貸料・保険料は市負担）。 ・原則、市が準備する住居で生活をしていただきます。 ・引越しに関わる経費、生活に必要な物品、光熱水費等は自己負担となります。</p> <p>○年金や健康保険については各自加入となります。</p> <p>○自家用自動車に対する借上料・燃料費を定額（月額15,000円）で支給します。 ・活動のための活動車両は、各自でご準備をお願いします。</p> <p>○情報発信で使用する住居でのネット通信料、ネット開設費を補助金にて支援します。 ・各自、パソコンのご準備をお願いします。 ・ネット回線の準備は、入居後、各自でご契約をお願いします。</p> <p>○副業OK（応相談） ・活動に支障がない範囲であれば、副業可能です。ご相談ください。</p> <p>○その他、地域協力活動において発生する、市が認める経費については補助金を交付します。 ・市の予算の範囲内が上限額となります。詳細はお問い合わせください。</p>
<p>募集期間</p>	<p>令和6年3月8日（金）～令和6年5月7日（火） ※応募状況により、募集を早期に締め切る場合があります。</p>
<p>応募 について</p>	<p>下記の方法により①～④の書類を提出してください。なお、応募書類は返却しません。</p> <p>① 常陸太田市地域おこし協力隊応募用紙 ② 常陸太田市地域おこし協力隊活動目標レポート ③ 住民票抄本（応募日前1か月以内に取得した、現在の状況を証明するもの） ④ 普通自動車運転免許証の写し</p> <p>【応募方法】：電子メール、郵送、持参</p> <p>○電子メールの場合 ・①から④をPDFファイルにし、提出ください。 ・送信の際は、表題を「地域おこし協力隊応募(ナチュラルチーズ職人)」(全て全角)としてください。</p> <p>○郵送、持参の場合 ①から④のすべての書類を一括して提出してください。</p>
<p>選考の流れ</p>	

(1) 応募書類を提出【令和6年5月7日(火)まで】

応募書類の提出を確認後、1週間以内に受付状況について、メール等で連絡します。

(2) 第1次選考

書類選考の上、令和6年5月17日(金)までに結果を記載した通知文書を発送し、第1次選考合格の方には第2次選考の日程等詳細についてメール等で連絡します。

(3) 第2次選考【令和6年5月30日(木)または令和6年5月31日(金)】

第1次選考合格者を対象に、常陸太田市役所において面接による選考を実施します。

詳細は、第1次選考結果と併せてお知らせします(交通費等は応募者の負担とします)。

(4) 最終結果

選考の最終結果については、令和6年6月中旬頃までに対象者へ通知文書を発送します。

(5) 委嘱・活動開始

令和6年8月1日(木)を予定しています。

※委嘱決定者と協議のうえ、委嘱・活動時期が変更となる場合があります。

○上記日程はあくまで予定のため、変更する可能性があります。日程が変更となった場合は、応募者にメール等で連絡します。

○委嘱期間中であっても、協力隊員としてふさわしくないと判断した場合は、委嘱を取り消すことがあります。

事前見学会について

研修先での研修内容について、事前見学会を随時受付しております。

【研修先】

ひたちおおたチーズ工房

【内容】

- ① 活動内容について
- ② 実際の現場作業見学
工房でのチーズ製造・販売 など

応募しようか悩んでいる方、隊員として具体的に何をするのか知りたい!等、詳しくお答えします!
ご希望の方は日程調整をいたしますので、下記の【見学会問い合わせ先】にご連絡ください。

【見学会問い合わせ先】

常陸太田市農政部農政課 農業振興係 電話:0294-72-3111 内線615

E-mail:noseil@city.hitachiota.lg.jp

オンライン相談について(共通)

募集期間中、オンライン相談(随時)を受付しております。

ご希望の方は、下記お問い合わせ・申込先へ「メール」又は「電話」にてご連絡ください。

日程調整のうえ実施します。

【内容】

- ・募集に関すること
 - ・常陸太田市に関すること
- 気になることがあれば何でもご相談ください!

※オンライン相談はWebexを使用して行います。インターネットが使えるPC、スマートフォン等のご準備をお願いします。(通信料は各自ご負担ください)

※メールでのお問い合わせの際は、下記を記載のうえ、送信してください。

- ①氏名 ②年齢 ③住所 ④連絡先(電話番号およびメールアドレス)

お問い合わせ・申込先

〒313-8611 茨城県常陸太田市金井町 3690
常陸太田市企画部少子化・人口減少対策課
T E L : 0294-72-3111 (内線 314, 346)
MAIL : kikaku3@city.hitachiota.lg.jp
受付時間 : 9時～17時まで

常陸太田市の地域おこし協力隊へ応募する方への参考情報

市の概要	
地勢	<p>常陸太田市は、茨城県の北部に位置し、東は高萩市、日立市に、西は大子町、常陸大宮市に、南は那珂市に、北は福島県矢祭町にそれぞれ接しています。</p> <p>市の総面積は、371.99k㎡で、茨城県全体の6.1%を占め、南北約40km、東西15kmの広がりを持ち、茨城県内で1番広大な市です。久慈川の支流である里川、山田川、浅川が流れ、この河川沿いに平野が開けています。</p> <p>標高は南部の平坦地では約10m、北部は、阿武隈山系の山岳地帯で750mを超え、たおやかで豊かな稜線を望むことができます。</p> <p>気候は太平洋型であり、四季を通じて穏やかですが、冬季には積雪をみることもあります。</p>
統計データ	<p>常住人口・世帯数は、令和6年2月1日現在では45,465人18,840世帯であり人口減少傾向が続いています。</p> <p>※人口と世帯数は、令和2年国勢調査の結果に基づき、住民基本台帳の増減数（出生・死亡・転入・転出）を加減して算出したものです。</p>
地区の状況	<p>平成16年12月1日に常陸太田市、久慈郡金砂郷町、水府村、里美村が合併し現在の常陸太田市となりました。当初の受け入れ活動対象は、里美地区、水府地区、金砂郷地区でしたが、現在は常陸太田地区も加わり、市内すべての区域となっております。</p> <p>里美地区は、地元酪農の生乳を活用したジェラートやチーズなどの乳製品が生産されています。風力発電の活用など、自然環境に配慮したまちづくりを進めているほか、キノコなどの特産林産物やお茶の栽培なども盛んです。また、広大な山林を活用した林業の更なる振興が期待されています。</p> <p style="text-align: right;">【人口：2,483人 世帯数：1,056世帯】</p> <p>水府地区は、林業や畜産、こんにゃく、葉タバコ、そばなどの地域の特性を活かした地場産業で栄え、近年はりんごや柿をはじめとする果樹も栽培されています。日本最大級の高さからバンジージャンプができる竜神大吊橋があり、本地域の観光拠点となっております。</p> <p style="text-align: right;">【人口：3,598人 世帯数：1,568世帯】</p> <p>金砂郷地区は、北部が常陸秋そば発祥の地として知られているほか、南部では平坦な土地を活かした水田地帯が広がっています。宮の郷工業団地への企業誘致も図っており、主に製材工場などが集積しています。廃校を利用した体験交流施設もあり、農作業体験を伴った合宿などで活用されています。</p> <p style="text-align: right;">【人口：8,437人 世帯数：3,401世帯】</p> <p>常陸太田地区は、平安時代末期より県北地方一帯を支配した常陸の豪族佐竹氏の本拠地として約460年間繁栄し、江戸時代に入ると徳川光圀公が晩年を過ごした西山荘や水戸徳川家歴代藩主の墓所である瑞龍山などに代表されるように水戸藩領地として発展し、明治時代には郡役所の設置や棚倉街道の商業中心都市として繁栄をしてきました。上質なコシヒカリの産地としての水田地帯が広がり、地域産業の中核を担うとともに、ぶどうや梨などの特産物の生産地でもあります。</p> <p style="text-align: right;">【人口：30,947人 世帯数：12,815世帯】</p>

常陸太田市の生産物について（一部）

常陸太田 の米	常陸太田市は、浅川・山田川・里川といった久慈川水系の清流が流れる良質米の産地です。古くは、ここで作られたお米が徳川家へ献上されていたとも言われており、現在でも全国的なコンテストで入賞するなど、地域を代表する生産物の一つとなっています。
常陸太田 のそば	市の北部では、昼夜の気温差や傾斜地に拓いた畑の土壌を活かし、江戸時代から良質なそばが生産されています。特に、金砂地区赤土町の在来種から生まれた常陸秋そばは味や香りも良く、そば職人から高い評価を得ています。 毎年11月には、本市で開催される常陸秋そばフェスティバルや、観光物産協会等が主催するイベント等があります。
常陸太田 の乳製品	市の北部では、地元の生乳を活用したジェラートやヨーグルト、チーズなどの乳製品が生産されています。 令和3年度には、県産チーズ等の品質向上と消費拡大を図るとともに、両市の農畜産業などの発展に寄与することを目的として、水戸市と乳製品の製造・販売における連携等に関する協定を締結しました。
常陸太田 のぶどう	丘陵地を中心にぶどう畑が広がっており、栽培面積や収穫量は茨城県内1位です。カルシウムやミネラルを豊富に含んだ土壌を活かして、巨峰や常陸太田オリジナル品種「常陸青龍（ひたちせいりゅう）」、シャインマスカットなど多くの品種が生産されています。
常陸太田 の梨	市の南部では、明治10年頃から梨が栽培されています。直売が中心のため完熟するまで木に実らせているのが特徴で、幸水や豊水、茨城県オリジナル品種「恵水（けいすい）」など、みずみずしく良質な梨が生産されています。
常陸太田 の柿	渋柿である大核無などを樹上脱渋処理した常陸柿匠星霜柿や、蜂屋柿を加工した干柿など、高品質化・ブランド化を推進しており、生産拡大や県外などへの更なる販路拡大が期待されています。
常陸太田 の野菜	皮が柔らかく身のしまった奥久慈なすや、葉鞘（ <small>ようしやう</small> ）（白い部分）が長く甘味の多い奥久慈ねぎの品質向上やブランド化を推進するなど、山間地域の特性を活かした少量多品目の野菜が栽培されています。
常陸太田 の木材	山間部の北部を中心に、スギ・ヒノキをはじめとする植林が行われており、密度が高く良質な八溝材の産地として知られています。また、キノコや木炭等の特用林産物も生産されています。

常陸太田市で地域おこし協力隊として活動するメリットについて

- ・市内に定住した先輩隊員から様々なアドバイスを受けることができます。
- ・活動に必要な研修の受講や資格取得にかかる費用を予算の範囲内でサポートします。
- ・「道の駅ひたちおおた」を生産物・加工品の販売先として利用したり、情報発信および消費者等との交流の場として活用したりすることができます。